

京のアジェンダ 21 フォーラム

# 2011（平成 23）年度 総会議案

日時：2011（平成 23）年 6 月 13 日（月）18:30～19:30

場所：職員会館かもがわ 大会議室

- |         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 第 1 号議案 | 2010（平成 22）年度事業報告について         |
| 第 2 号議案 | 2010（平成 22）年度収支決算について         |
| 第 3 号議案 | 2011（平成 23）年度事業計画について         |
| 第 4 号議案 | 2011（平成 23）年度収支予算について         |
| 第 5 号議案 | 幹事および監事の選任について                |
| 第 6 号議案 | 京のアジェンダ 21（2011 年度発展・補強版）について |



2010（平成22）年度事業報告（案）

1 「京のアジェンダ 21」の新たな展開

（1）（仮称）新京のアジェンダ 21 策定プロジェクト

6月2日に開催された京のアジェンダ 21 フォーラム幹事会にて、今後のフォーラム活動を有意義なものにするため、1997年に策定して「京のアジェンダ 21」の文章を書き直すことが確認されました。その作業は、幹事会の中からメンバーを集め、「（仮称）新京のアジェンダ 21 策定プロジェクト」を立ち上げて進めました。2010年度は以下の通り6回の会議を開催し、原案を取りまとめました。

●プロジェクトメンバー

幹事：内藤、小幡、大島、杵本、田浦、太田、谷口、井上

京都市地球温暖化対策室：村上、上田、橋本、千葉

フォーラム事務局：石崎

●会議の開催等

回	日時	場所	内容	出席者
第1回	8月18日（水） 10:00～12:00	京都市役所 寺町第1会議室	・プロジェクトの趣旨・概要について ・（仮称）新京のアジェンダ 21 の概要について ・検討の進め方について	9人
第2回	9月17日（金） 9:30～11:30	京都市役所 寺町第1会議室	・これまでの京のアジェンダ 21 の実施状況について ・新しい京のアジェンダ 21 について ・京のアジェンダ 21 の戦略について	9人
第3回	10月29日（金） 15:00～17:00	ハートピア京都 第3会議室	・リーディングプロジェクトの考え方 ・リーディングプロジェクト案	13人
第4回	12月8日（水） 10:00～12:00	京都市役所 寺町第1会議室	・新京のアジェンダ 21 の取組内容について ・リーディングプロジェクトについて	12人
第5回	1月7日（金） 10:00～12:00	京都市役所 寺町第2会議室	・リーディングプロジェクトについて ・中間とりまとめ案、今後のスケジュールについて	12人
第6回	2月22日（火） 15:00～17:00	京都市役所 寺町第4会議室	・リーディングプロジェクトについて ・新京のアジェンダ 21 のまとめ方について ・今後のスケジュールについて	8人

## ●意見募集

2月1日～14日 会員等に対し、リーディングプロジェクト案への意見募集を行いました。

## ●リーディングプロジェクトの検討

(仮称) 新京のアジェンダ 21 を検討する中で、リーディングプロジェクト案が7つあげられましたが、その中の「企業と NPO/NGO のマッチング」に関して、2010年11月に ISO26000 が発行されたことに関し、以下の通り学習会を催しました。

テーマ 地域における SR 社会的責任から社会的信頼へ —ISO26000 という新しい風—

日時 2011 (平成 23) 年 3 月 10 日 (木) 午後 2 時～4 時 30 分

(終了後、希望者のみ試飲会 午後 5 時～6 時)

場所 月桂冠株式会社 昭和蔵ホール

内容 基調講演「地域における SR 社会的責任から社会的信頼へ  
—ISO26000 という新しい風—」

講師：黒田かをりさん (CSO ネットワーク 共同事業責任者)

事例紹介①「KES における地域との共生」

NPO 法人 KES 環境機構 専務理事 津村昭夫さん

事例紹介②「京都環境コミュニティ活動 (KESC) について」

KESC 水源の森づくりチームリーダー 月桂冠株式会社 白瀧昌彦さん

参加者 22 人

## 2 ワーキンググループ活動

### (1) 自然エネルギーワーキンググループ

自然エネルギーワーキンググループでは、(仮称) 新京のアジェンダ 21 のリーディングプロジェクトとして「再生可能エネルギーの普及」があげられていることから、その進め方について検討しました。

## ●再生可能エネルギーの普及に関する調査

(仮称) 新京のアジェンダ 21 のリーディングプロジェクトとしてあげられている「再生可能エネルギーの普及」に関して、今後の活動について検討するための基礎的情報を得るために、国や他都市の状況、京都市内での活動の状況等を調査しました。

## ●ワーキンググループ会議

日時 3月24日 (木) 10:00～12:00

場所 気候ネットワーク事務所

議題 ・京の再生可能エネルギービジョン<市民版>について  
・活動の可能性について  
・2011年度の活動・メンバー・スケジュールについて

出席者 12人

### 3 プロジェクトの実施

#### (1) バスと電車で eco グルメ！

「バスと電車で eco グルメ！」は、2007 年度に行った「脱温暖化行動キャンペーン」の一環として公共交通利用を促進する目的で始め、以降毎年度継続して実施しています。これは、京都市内の公共交通機関で使える定期券や、トラフィカ京カード・スルッとKANSAI・全路線の一日乗車券などを利用した当日に、京都市内の、キャンペーンへの参加協力飲食店で提示すると、飲食代金の割引やドリンクサービスなどのお得な特典が受けられるというものです。

2010 年度は、広報用パンフレットをより多くの方に手にとってもらい、取組の趣旨や様々な環境情報を合わせて知ってもらうためにパンフレットを充実させることや、協力店舗へのヒアリング等を通じて効果の検証を行いました。

#### ●プロジェクト会議

参加者：京都市交通局企画総務部企画課、京都市産業観光局観光部観光企画課、  
京都市環境政策局地球温暖化対策室、有限会社ティーエスピー、フォーラム事務局

回	日時	場所	出席者
第 1 回	6 月 4 日（金） 13:30～15:00	京都市交通局会議室	9 人
第 2 回	10 月 26 日（火） 13:30～15:00	京都市交通局会議室	9 人
第 3 回	2 月 25 日（金） 13:30～15:00	京都市交通局会議室	8 人

#### ●キャンペーン実施

第 1 期 8 月 1 日～11 月 30 日

第 2 期 12 月 1 日～3 月 31 日

（12 月 1 日に地下鉄四条駅「Kotochika 四条」にてキックオフイベント実施）

第 3 期 4 月 25 日～7 月 31 日

#### (2) 家庭の省エネ相談所

フォーラムでは、2006 年度より家庭の地球温暖化対策の取り組みとして、「家庭の省エネ相談所」を京都市内で開設し、2009 年度までに 3,000 名を越える市民に受けていただきました。「家庭の省エネ相談所」とは、市民に、日々の暮らしに関する取り組みを「エコライフ診断 記入シート」に記入してもらい、コンピューターで診断して「エコライフ診断書」を発行し、研修を受けた「家庭の省エネアドバイザー」が、各家庭に合った省エネのアドバイスを行うというものです。

2010 年度も省エネ普及ネット・京都、京都府地球温暖化防止活動推進センター、京エコロジーセンター等の協力を得て、地域のイベント等の場を中心に開設しました。

また、家庭の省エネ相談所でアドバイスを行う「家庭の省エネアドバイザー」の養成研修会を開催し、21 名の方が修了され、登録者数は計 108 名となりました。さらに、これまで登録していただいている家庭の省エネアドバイザーを対象としたスキルアップ研修も省エネ普及ネット・京都と協力して実施しました。

●家庭の省エネ相談所

日程	場所	イベント名・	相談者数
8月7日(土)	パルスプラザ	京セラ夏祭り	55人
9月18日(土)	パルスプラザ	SKY ふれあいフェスティバル	103人
9月19日(日)			114人
10月9日(土)	京都駅ビル	京都学生祭典	40人
10月24日(日)	藤森神社	深草ふれあいプラザ	50人
10月24日(日)	中京中学校	中京区民ふれあいまつり	40人
11月7日(日)	祥栄小学校	祥栄ふれあい祭り	21人
11月13日(土)	自然幼稚園	太秦手づくり二土の市	21人
11月13日(土)	金閣小学校	わいわいフェスタ 21 in 金閣	34人
11月20日(土)	西文化会館ウエスティ	西京区民ふれあいまつり	50人
11月21日(日)	新道小学校	新道もちつき大会	23人
11月23日(火祝)	京都競馬場みどりの広場	伏見西部ふれあいプラザ	68人
12月5日(日)	伏見区役所	伏美 eco 市	30人
12月11日(土)	パルスプラザ	京都環境フェスティバル	95人
12月12日(日)			102人
1月22日(土)	アル・プラザ醍醐店	醍醐環境フェスタ	28人
1月23日(日)			40人
2月7日(月)	山科区役所	—	27人
3月6日(日)	京エコロジーセンター	エコカフェ	20人
3月16日(水)	コープ下鴨店	—	19人
3月22日(火)	右京区役所	—	20人
計	20回		1,000人

●家庭の省エネアドバイザー養成研修会(修了者:21人)

日時	内容	場所
10月2日(土) 13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化・省エネに関する知識など 講師:鈴木靖文さん(ひのでやエコライフ研究所)</li> <li>家庭の省エネ相談所・省エネ診断について 講師:天野光雄さん(省エネ普及ネット・京都)</li> </ul>	京エコロジーセンター第1・第2会議室
10月23日(土) 13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>接遇の仕方について 講師:岩木啓子さん(ライフデザイン研究所 FLAP)</li> <li>省エネ相談所模擬演習 講師:省エネ普及ネット・京都会員</li> </ul>	京エコロジーセンターシアター

●家庭の省エネアドバイザースキル UP 研修会

日 時 11月28日(日) 13:00~16:00

場 所 京エコロジーセンター 第1・2会議室

内 容 第1部 講演1「最新の省エネ術をお教えします」

鈴木靖文氏 (ひのでやエコライフ研究所)

講演2「エコ徒歩日本縦断からみた日本各地の省エネ事情」

金澤良彦氏 (省エネ普及ネット・京都会員)

第2部 家庭の省エネ診断活動の振り返り

参加者 23人

(3) 京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト

フォーラムでは、京都のそれぞれの地域で、事業者・学校・住民などの各主体が協力して環境問題に取り組む仕組みづくりを目指す「京都環境コミュニティ活動」(以下 KESC という)を 2006年度より実施してきました。

2010年度は、4つのグループがそれぞれの活動を実施しましたが、全体では事業者募集説明会の開催やイベントへの出展など新規参加を促す取組を行う他、新たな活動のための調整も行いました。また、活動の内容を紹介するパンフレットの作成も行いました。

●全体活動

日時	内容	場所	参加者数
6月29日(火) 16:00~17:30	チームリーダー会議	京エコロジーセンター活動支援室	7人
7月26日(月) 15:00~17:00	プロジェクト全体ミーティング	京都市市民生活センター研修室	15人
9月15日(火) 14:00~16:30	事業者募集説明会	京都市市民生活センター研修室	27人
10月6日(水) 19:00~21:00	チームリーダー会議	(有)村田堂	6人
11月22日(火)	山科ふれあいまつり出展	山科中央公園	1人
12月11日(土)・ 12日(日)	京都環境フェスティバル出展	パルスプラザ	5人
3月2日(水) 18:30~20:30	チームリーダー会議	京エコロジーセンター第2会議室	12人

・パンフレットの作成

京都環境コミュニティ活動 (KESC) の内容を紹介し、新たな参加を募るためのパンフレットを作成し、3,000部印刷しました。

●自然エネルギー環境学習チーム

電気に関わる仕事をしている事業者がチームを組み、合同で1つの授業プログラムを作っています。児童たちのエネルギーの大切さや、環境の負荷の少ない自然エネルギーのこと、地域の事業者が地球温暖化防止に取り組んでいることを伝えています。

・参加者

生田産機工業株式会社、有限会社森田電設、株式会社エコロ 21、京都市立洛陽工業高等学校、有限会社村田堂

・出前授業

日時	学校名	学年	参加者数
2月2日(水) 10:45~12:20	藤城小学校	6年生	6人
2月9日(水) 9:45~11:30	藤ノ森小学校	4年生	5人

・その他の活動

日時	内容	場所	参加者数
8月31日(火) 18:30~20:30	会議	京エコロジーセンター 活動支援室	6人
12月17日(金)	打合せ	藤城小学校	5人
1月26日(水) 18:30~20:30	練習	京エコロジーセンター 活動支援室	6人
2月1日(火) 18:00~20:00	練習	京エコロジーセンター 活動支援室	6人

・報告書の作成

これまでの活動内容をまとめ、今後の広報等に活用するため、自然エネルギー環境学習チームの報告書を作成し、1,000部印刷しました。

●交通環境学習チーム

仕事で自動車を使ったり、研究・生産・販売を行う事業者が、地球温暖化を防ぐために自分たちに何ができるか考えてもらうため、なるべく自動車に乗らない生活を心がけることや、CO<sub>2</sub>を出さない自動車の使い方、事業者が地球温暖化を防ぐために取り組んでいることを児童に紹介しています。

・参加者

株式会社ホンダカーズ京都、株式会社エコロ 21、株式会社東映京都スタジオ「東映太秦映画村」、有限会社村田堂、京都市環境政策局地球温暖化対策室

・出前授業

日程	学校名	学年	参加者数
1月28日(金) 10:50~12:15	修学院第二小学校	5年生	9人
2月8日(火) 10:45~12:20	朱雀第四小学校	6年生	9人
2月24日(木) 10:45~12:15	南太秦小学校	5年生)	8人

・その他の活動

日程	内容	場所	参加者数
12月15日(水)	打合せ	修学院第二小学校	4人
1月14日(金) 16:00~18:00	練習	村田堂	9人

・報告書の作成

これまでの活動内容をまとめ、今後の広報等に活用するため、交通環境学習チームの報告書を作成し、1,000部印刷しました。

●市民共同おひさま発電所づくりチーム

もともと、「おひさま発電所づくり」が主題で始まった活動で、おひさま発電とは何かをどうすれば保育園の園児たちにわかりやすく紹介できるのかとチーム内で検討し、手づくりの環境紙しばいを作成しました。現在では3作品が誕生し、各保育園や環境イベントなどにももの参加し上演しています。各企業としても、おひさま発電所設置のための寄付を行っています。

・参加者

公栄運輸株式会社、京都電測株式会社、科研製薬株式会社、市民

・環境紙しばい・環境学習等

日程	場所等	参加者数
12月8日(水)	つくし保育園	6人
12月12日(日)	京都環境フェスティバル(パルスプラザ)	5人
3月14日(月)	向島保育園	7人

・その他の活動

日程	内容	場所	参加者数
4月7日(水) 17:00~18:00	第1回会議	京エコロジーセンター 活動支援室	4人
6月9日(水) 16:00~18:00	第2回会議	公栄運輸 会議室	4人
8月4日(水) 16:00~18:00	第3回会議	公栄運輸 会議室	4人
9月29日(水) 16:00~18:00	第4回会議	公栄運輸 会議室	4人
10月13日(水) 16:00~18:00	第5回会議	公栄運輸 会議室	4人
2月23日(水) 16:00~18:00	練習	公栄運輸 会議室	4人

・報告書の作成

これまでの活動内容をまとめ、今後の広報等に活用するため、市民共同おひさま発電所づくりチームの報告書を作成し、1,000部印刷しました。

●水源の森づくりチーム

森林保全活動を行い、水の源である森を地域の方と共に守る活動を行っています。

・参加者

月桂冠株式会社、有限会社村田堂、日本電気化学株式会社、三幸総研株式会社、株式会社エスケ  
ーエレクトロニクス、株式会社インテリア・ホソイ、株式会社グリーンワークス

・森林保全活動

日程	内容	場所	参加者数
10月30日(土) 10:00～15:00	2010年3月に植樹した場所の見学、合併記念の森内視察を兼ねた散策および将来の植樹用の種子採取	合併記念の森	5人
11月13日(土) 10:00～15:00	森林内に侵入した竹の伐採(趣旨説明と実地研修)	音戸山	8人

・その他の活動

日程	内容	場所	参加者数
8月31日(火) 14:00～15:30	風致保全課の案内で音戸山現地下見	音戸山	3人
9月4日(土) 10:00～16:00	東山間伐体験イベント(京都市未来まちづくり100人委員会 山紫水明の京都チーム主催行事への参加)	山科区安祥寺山国有林	2人
10月11日(月・祝) 13:30～16:30	ナラ枯れ緊急報告会(京都府立大学主催行事への参加)	京都府立大学	1人
10月16日(土) 10:00～16:30	竹の環プロジェクト(京都大学主催の竹林間伐行事への参加)	京都大学桂キャンパス	1人
10月20日(水) 10:00～12:00	「京の苗木(地域苗木)」種子採取指導研修会(京都市林業振興課主催行事への参加)	合併記念の森	2人
12月11日(土) 13:30～16:30	京都建築専門学校市民講座特別講義「京北合併記念の森に期待する」(京北合併記念の森についての講演およびパネルディスカッションへの参加)	ハートピア京都	2人

#### 4 環境情報の収集・発信

(1) 季刊誌「あじえんだ」の発行

会員や市民等へ広く京のアジェンダ21フォーラムの活動を知ってもらうために、年4回季刊誌を発行しました。毎回3,000部印刷し、公共施設等へも配架しています。

発行日	内容
6月1日	2010年夏号（通巻第27号）発行
9月15日	2010年秋号（通巻第28号）発行
12月15日	2010年冬号（通巻第29号）発行
3月18日	2011年春号（通巻第30号）発行

## （２）メールマガジン「京えこめる」の配信

会員限定で、昨年度までの「月刊あじえんだ」に代わる情報提供として、メールマガジン「京えこめる」を毎月配信しています。現在登録数は約350件です。

配信日	内容
5月1日	京えこめる 2010年5月号（No.1）配信
6月1日	京えこめる 2010年6月号（No.2）配信
7月2日	京えこめる 2010年7月号（No.3）配信
8月2日	京えこめる 2010年8月号（No.4）配信
9月1日	京えこめる 2010年9月号（No.5）配信
10月1日	京えこめる 2010年10月号（No.6）配信
11月1日	京えこめる 2010年11月号（No.7）配信
12月1日	京えこめる 2010年12月号（No.8）配信
1月5日	京えこめる 2011年1月号（No.9）配信
2月1日	京えこめる 2011年2月号（No.10）配信
3月1日	京えこめる 2011年3月号（No.11）配信

## （３）ホームページによる情報発信

会員および一般向けに、フォーラムの概要や活動状況、行事や会議の告知等を掲載するホームページを運用しています。

ウェブサイト <http://ma21f.jp/>

## （４）啓発物品の作成

フォーラムの活動を知ってもらうための広報ツールとして、イベント等で配布するステッカーを2,000枚作成しました。デザインは、KESCの市民共同おひさま発電所づくりチームが作成した紙芝居に登場するキャラクターを使用しました。

## （５）情報収集

フォーラム事務局では、活動に必要なものや、参考になる情報を収集するため、他団体主催のセミナー、会議、イベント等へ参加するほか、他団体の刊行物や機関誌の購読、書籍の購入などを行っています。

## 5 交流・共催事業の実施

### (1) 会員交流会「サロン de エコ」

会員交流会「サロン de エコ」を開催し、多数の参加を得て交流の目的を達成しました。

日 時 6月22日(金) 19:45～20:45

場 所 京エコロジーセンター

参加者 49人

### (2) 共催事業

#### ●平成22年度事業者向け環境学習セミナー(全5回連続講座)

場所 京都商工会議所(6月21日は現地見学)

主催 京都市(環境政策局地球温暖化対策室、京エコロジーセンター)

日時・内容 (時間は毎回13:30～16:30)

回	日程	内容
第1回	6月7日(月)	環境問題とこれからの企業活動のあり方を考える
第2回	6月14日(月)	事業所の環境への取り組み あれこれを聞く (ウエダ本社、京都ホテル、村田堂、月桂冠、KES環境機構)
第3回	6月21日(月)	環境への取り組みの現場を見てみる (京都市北部クリーンセンター見学)
第4回	7月5日(月)	私の事業所での環境の取り組みを考える①
第5回	7月12日(月)	私の事業所での環境の取り組みを考える②

#### ●北区民環境セミナー第3回「水と森と里の恵みを知ろう」

日時: 2月5日(土) 13:30～16:00

場所: 北区役所3階大会議室

主催: 北区民ふれあい事業実行委員会、北区役所

内容: 第1部「水と森の恵みをさぐる」奥井祐子(京のアジェンダ21フォーラム)

「おいしい紅茶のいれ方」(実演)

松村緑子さん(日本紅茶協会認定ティーアドバイザー)

第2部 パネルディスカッション「北区にまつわる水や森の話」

柴田昌三さん(京都大学フィールド科学教育研究センター教授)

中東久人さん(野草一味庵 美山荘当主)

金辻 進さん(中川地区 林業)

#### ●醍醐環境フェスタ2011

テーマ: 「地球に優しく今私たちにできること」

— “もったいない” からを考えてみませんか—

日時: 1月22日(土) 13:00～16:00・23日(日) 10:00～15:00

場所: アル・プラザ醍醐店

主催: 環境フェスタ運営委員会

(3) 後援・協力・出展・講師派遣・委員等就任

●後援

期間	事業名	依頼者
5月22日(土) ～3月31日(木)	東本願寺の境内周辺を中心として実施する夏、秋の自然観察会、お堀探検、市民交流会など、環境をキーワードに下京地域のコミュニティーづくりを目指して行う一連の取組	東本願寺と環境を考える市民プロジェクト
6月26日(土)	雨水フォーラム 2010 in 京都	NPO 法人京都・雨水の会
7月23日(金) ～25日(日)	京都流議定書 2010 ～京都の価値、精神を科学する～	京都流議定書イベント実行委員会
9月11日(土) ～1月15日(土)	自然エネルギー学校・京都	京エコロジーセンター
9月1日(水) ～4月30日(土)	自然幼稚園おひさまプロジェクト	認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド
11月20日(土) ・21日(日)	市民が進める温暖化防止 2010	NPO 法人気候ネットワーク
12月4日(水)	第8回雲ヶ畑森の文化祭	雲ヶ畑森の文化祭実行委員会
12月23日(木)	ちゃんと知りたい生物多様性条約 COP10/MOP5	NPO 法人環境市民
1月18日(火)	まちづくりと一体となったドイツの環境政策	NPO 法人環境市民
2月2日(水)	第3回エコホテル・旅館フォーラム	京都グリーン購入ネットワーク
3月5日(土)	第10回バイコロジー京都「市民フォーラム」	京都府バイコロジーをすすめる会
3月23日(水)	地域ぐるみで家庭のエコ・・・CO2・マイナス 25%のライフスタイルを目指して	京都府地球温暖化防止活動推進センター

●協力

期間	事業名	主催等
10月1日(金) ～12月31日(金)	グリーン購入キャンペーン「買い物でエコ! '10」	主催：京都グリーン購入ネットワーク 共催：京都市ごみ減量推進会議
11月11日(木) ～14日(日)	「レジ袋いりまへん」で、もっと減らそう! キャンペーン	京都市レジ袋有料化推進懇談会・京都市・京都市ごみ減量推進会議

●参加

- ・京グリーン電力推進協議会
- ・京都グリーン購入ネットワーク調査研究部会
- ・こどもエコライフチャレンジプロジェクトチーム

●委員等就任

組織・会議名	職名	就任者
京都市環境審議会 地球温暖化対策推進委員会	委員	田浦健朗
京都市自転車等駐車対策協議会	委員	井上和彦
嵐山交通対策研究会	委員	井上和彦
東山交通対策研究会	委員	井上和彦
京エコロジーセンター事業運営委員会	委員	井上和彦
京エコロジーセンター選考小委員会	委員	井上和彦
くらしの匠プロジェクト本部	委員	井上和彦
平成 23 年度スモールオフィス等利用団体選定委員会 (京都市市民活動総合センター)	委員	井上和彦
京都府地球温暖化対策プラン検討会議	委員	井上和彦
京都府地球温暖化防止活動推進センター運営委員会	委員	井上和彦
京都府エコドライブ普及促進検討会	委員	井上和彦
京都グリーン購入ネットワーク	幹事	井上和彦

●視察対応

日程	視察者	視察者数
5月18日(火)	日田市市民環境部水郷ひたづくり推進課	
5月28日(金)	株式会社 HIBANA・株式会社日立製作所・信州大学	5人
8月11日(水)・20日(金)	NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラム	
2月9日(水)	仙台市環境局環境部環境企画課	2人
2月11日(金)	飯田地球温暖化対策地域協議会	
2月18日(金)	地域公共人材開発機構	3人
3月4日(金)	経済産業省関東経済産業局	1人

●講師派遣

日程	行事名	内容	主催・依頼者	派遣者
11月10日(水)	近畿 EST 創発セミナー 「EST で実現する未来の まち・京都」	意見交換パネリスト	交通エコロジ ー・モビリティ 財団	井上和彦
2月11日(金・ 祝)	低炭素都市推進国際会議 in 京都	基調講演、参加者に よるダイアローグコ ーディネーター	低炭素都市推 進協議会	内藤正明
3月12日(土)	第12回環境パートナーシ ップ研究会	事例報告	呼びかけ人代 表中口毅博	井上和彦

## 9. フォーラムの運営

### (1) 会員

フォーラムには、2011年3月末現在、市民・市民団体・事業者・事業者団体など、個人212人、団体291団体、計503会員が参加しています。

### (2) 総会

日 時 6月22日(金)

場 所 京エコロジーセンター

出席者 当日出席35名 委任状276名 合計311名(当日会員数510名)

議 案 第1号議案 2009(平成21)年度事業報告について  
第2号議案 2009(平成21)年度収支決算について  
第3号議案 2010(平成22)年度事業計画について  
第4号議案 2010(平成22)年度収支予算について  
第5号議案 幹事および監事の選任について

議 決 全ての議案が承認されました。

### (3) 幹事会

#### ●幹事会の開催状況

回	日時	場所	内容	出席者 (委任状)
第1回	6月2日(水) 10:00~12:00	京都市役所 寺町第1会議室	・ 役員の選任について ・ 2010年度総会の議案について ・ 2010年度プロジェクトチームの 設置、廃止について	18人(9)
第2回	10月27日(水) 15:00~17:00	京都市役所 寺町第5会議室	・ 幹事の選任について ・ (仮称)新京のアジェンダ21の策 定について	18人(9)
第3回	1月19日(水) 10:00~12:00	職員会館かもがわ 第4会議室	・ 幹事の選任について ・ (仮称)新京のアジェンダ21の策 定について	19人(7)
第4回	3月25日(金) 10:00~12:00	京都市役所 寺町第5会議室	・ 幹事の選任について ・ (仮称)新京のアジェンダ21の策 定について ・ 次年度のフォーラム活動について	15人(8)

また、8月6日に京都市地球温暖化対策条例改正等についての意見交換会を京都市役所寺町第2会議室にて開催し、幹事7名が参加しました。

● 幹事・監事名簿

役職	名前	所属・役職等
代表	内藤正明	京都大学名誉教授・特定非営利活動法人循環共生社会システム研究所代表理事
幹事長	小幡範雄	立命館大学政策科学部 教授
副幹事長	大島 仁	京都市 地球環境政策監
	杵本育生	特定非営利活動法人環境市民 代表理事
幹事	青田真樹	財団法人京都ユースホステル協会 事務局長
	浅岡美恵	弁護士
	石野 茂	京都府文化環境部 環境政策監兼副部長
	伊東真吾	京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局長
	井上恵津子	京都市地域女性連合会 常任委員
	井上和彦	京のアジェンダ 21 フォーラム 事務局長
	太田航平	特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表理事
	奥原恒興	京都商工会議所 専務理事
	黒石 悟	京都府中小企業団体中央会 事務局長
	新喜富雄	財団法人京都市環境事業協会 京エコロジーセンター次長
	砂田和寛 (～3/25) 三宅康仁 (3/25～)	株式会社京都放送 ラジオ営業局事業部長
	田浦健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク 事務局長
	田辺真人	京都市 都市計画局長
	谷口正克	社団法人京都工業会 業務推進役
	坪内俊明	京都市 環境政策局長
	津村昭夫	特定非営利活動法人 KES 環境機構 専務理事
	東田文男 (～10/27) 稲庭 篤 (10/27～)	株式会社京都新聞社 編集局次長兼社会報道部長 " 社会報道部社会担当部次長
	福永 健 (～1/19) 磯橋輝彦 (1/19～)	社団法人京都青年会議所 副理事長
	藤田晶子	京都リビング新聞社 営業本部 営業・編集統括マネジャー (9月1日よりフリーエディター)
	本部正一	社団法人京都市観光協会 事務局長
	森井保光	京都市 産業観光局長
	文字英夫	社団法人京都ボランティア協会 理事
	山内 寛	京都市保健協議会連合会 会長
	山岡義明	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 事務局長代理
	和田政昭	京都商店連盟 事務局長
	監事	上田 誠
幸前清孝		環境クラブ京都 副会長
原 強		特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 理事長

#### (4) 事務局

フォーラムでは、京エコロジーセンター活動支援室内（京都市伏見区深草池ノ内町 13）に事務所を置き、事務局長 1 名、事務局コーディネーター 2 名、事務局アシスタント 1 名、庶務担当職員 1 名が勤務し、事務局を運営しています。

第2号議案 2010（平成22）年度収支決算について

2010（平成22）年度収支決算（案）

[一般会計]

収支計算書

単位：円

	大科目	中科目	予算額 (C)	決算額 (D)	差異 (D-C)
収 入	会 費 収 入		900,000	782,000	▲ 118,000
	事 業 収 入	企画・催事	200,000	101,000	▲ 99,000
	助 成 金 収 入		0	15,225	15,225
	受 託 金 収 入		22,048,000	22,048,000	0
	雑 収 入		10,000	1,715	▲ 8,285
	前年度繰越金		1,162,679	1,162,679	0
	合 計 (A)		24,320,679	24,110,619	▲ 210,060
	大科目	中科目	予算額 (C)	決算額 (D)	差異 (C-D)
支 出	事 業 費	事業活動費	3,930,000	4,049,550	▲ 119,550
		情報収集・提供	1,280,000	1,328,106	▲ 48,106
		交流・共催事業	230,000	144,014	85,986
	管 理 費	会議費	170,000	142,124	27,876
		人件費	15,460,000	13,874,225	1,585,775
		一般事務費	2,300,679	2,630,954	▲ 330,275
予 備 費		950,000	0	950,000	
	合 計 (B)		24,320,679	22,168,973	2,151,706
収 支 差 (A-B)			0	1,941,646	

[一般会計]

損益計算書 2010(平成22)年4月1日～2011(平成23年)3月31日

支 出	金額 (円)	収 入	金額 (円)
事 業 費	5,521,670	会 費 収 入	782,000
( 事 業 活 動 )	4,049,550	事 業 収 入	101,000
( 情 報 収 集 ・ 提 供 )	1,328,106	( 企 画 ・ 催 事 )	101,000
( 交 流 ・ 共 催 )	144,014		
管 理 費	16,647,303	助 成 金 収 入	15,225
( 会 議 費 )	142,124	受 託 金 収 入	22,048,000
( 人 件 費 )	13,874,225	雑 収 入	1,715
( 一 般 事 務 費 )	2,630,954	前 年 度 繰 越 金	1,162,679
当 期 余 剰 金	1,941,646		
合 計	24,110,619	合 計	24,110,619

貸借対照表 2011(平成23)年3月31日現在

資 産	金額 (円)	負債及び資本	金額 (円)
現 金	0	未 払 金	4,972,495
銀 行 預 金	4,866,141	剰余金 (当期未処分利益)	1,941,646
未 収 入 金	2,048,000		
合 計	6,914,141	合 計	6,914,141

[一般会計]

支出内訳

単位： 円

勘定科目及び金額		2010年度	2010年度	摘 要
大科目	中科目	予算額	決算額	
事業費	事業活動費	3,930,000	4,049,550	1 京のアジェンダ 2 1 の新たな展開 【110,962】 会議開催経費 5,500 講師謝金 67,518 交通費 26,640 消耗品他 11,304
				2 ワーキンググループ活動 【499,358】 業務委託費用 499,358
				3 プロジェクトの実施 【3,439,230】 バスと電車でecoグルメ (1,693,125) 管理運営業務委託費 1,181,775 パンフレット等印刷費 248,010 新聞広告費用 263,340
				家庭の省エネルギー対策プロジェクト (738,616) 家庭の省エネ相談所開設業務委託費 575,140 アドバイザー養成研修会開催費用 89,637 消耗品費他 73,839
				京都環境コミュニティ活動 (KESC) (1,007,489) 活動報告書作成費 886,162 コーディネーター等謝金 67,506 消耗品費他 53,821
		1,280,000	1,328,106	4 環境情報等の収集・発信 【1,328,106】 季刊誌の発行 (760,027) 編集・印刷費 601,057 発送費用 158,970 メールマガジン・ウェブサイト運営費用 46,415 資料類発送費用 249,505 啓発物品等作成費 47,320 封筒作成 59,010 消耗品費他 165,829
		230,000	144,014	5 交流・共催事業の実施 【144,014】 交流・共催事業事務経費 83,205 サロンdeエコ開催経費 50,179 関係団体等会費 10,630
		事業費 合計	5,440,000	5,521,670

[一般会計]

支出内訳 (一般会計)

単位： 円

勘定科目及び金額		2010年度	2010年度	摘 要
大科目	中科目	予算額	決算額	
管理費	会議費	170,000	142,124	総会開催関係経費 142,124
	人件費	15,460,000	13,874,225	職員賃金 12,293,909 保険料 (事業主負担) 1,541,220 健康診断費用他 39,096
	一般事務費	2,300,679	2,630,954	事務用品・消耗品費・事務経費 (電話・コピー料金他) 1,547,814 事務所 電気代相当分 180,000 税理士顧問報酬 158,340 消費税 674,800 法人市府民税 70,000
管理費 合計		17,930,679	16,647,303	

[一般会計]

財産目録 2011（平成23）年3月31日現在

科 目		金 額 (円)		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金		0		
普通預金	三菱東京UFJ銀行京都支店（#5468383）	4,860,211		
郵便振替口座	（#00960-7-143508）	5,930		
未収入金		2,048,000		
流動資産合計			6,914,141	
資産合計				6,914,141
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	事業費・人件費他	4,227,695		
	消費税	674,800		
	法人市府民税	70,000		
		4,972,495		
流動負債合計			4,972,495	
負債合計				4,972,495
正味財産				1,941,646

[寄付金特別会計]

収支計算書

単位： 円

	大科目	中科目	予算額 (C)	決算額 (D)	差異 (D-C)
収 入	寄 付 金 収 入		50,000	0	▲ 50,000
	雑 収 入		400	234	▲ 166
	前年度繰越金		949,912	949,912	0
	合 計 (A)		1,000,312	950,146	▲ 50,166
	大科目	中科目	予算額 (C)	決算額 (D)	差異 (C-D)
支 出	事 業 費		0	0	0
	管 理 費		0	0	0
	合 計 (B)		0	0	0
収 支 差 (A-B)			1,000,312	950,146	

[寄付金特別会計]

損益計算書 2010（平成22）年4月1日～2011（平成23）年3月31日

支 出	金額（円）	収 入	金額（円）
事 業 費	0	寄 付 金 収 入	0
管 理 費	0	雑 収 入	234
当 期 剰 余 金	950,146	前 年 度 繰 越	949,912
合 計	950,146	合 計	950,146

貸借対照表 2011（平成23）年3月31日現在

資 産	金額（円）	負債及び資本	金額（円）
銀 行 預 金	950,146	剰余金（当期末処分利益）	950,146
合 計	950,146	合 計	950,146

[寄付金特別会計]

財産目録 2011（平成23）年3月31日現在

科 目	金 額 (円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金 三菱東京UFJ銀行京都支店（#5544043）	950,146		
流動資産合計		950,146	
資産合計			950,146
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計	0		
負債合計		0	
正味財産			950,146

# 監 査 報 告

京のアジェンダ21フォーラム

代 表 内 藤 正 明 様

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の事業及び会計についての監査の結果、適正に執行されていたので報告します。

以 上

平成23年5月20日

監 事

上 田 誠



監 事

原 強



監 事

幸 前 清 孝





## 2011（平成23）年度事業計画（案）

2010年度に行った（仮称）新京のアジェンダ21策定プロジェクトでは、1997年に策定した「京のアジェンダ21」の内容や、その推進により果たしてきた京のアジェンダ21フォーラムの役割を尊重しながらさらにそれを推し進めていくこと、現在行っている継続的な取組やこれに沿った様々な取組を進めながら、それらを牽引していくような「リーディングプロジェクト」をいくつか絞って行うことにより、全体的な活動を活性化していくことが提案されました。

これに従い、2011年度は、3つのリーディングプロジェクトを立ち上げるとともに、これまで継続してきたプロジェクトについても、関係団体との連携を図りながらより効果的なものとなるよう工夫し進めていきます。

### 1 「京のアジェンダ21」の推進

- ・2011年度の現時点での課題意識や将来像、戦略をまとめた「京のアジェンダ21（2011年度発展・補強版）～持続可能な社会づくりのためのビジョンと戦略～」について、わかりやすい冊子を作成し、配布します。
- ・「京のアジェンダ21」を多様な主体が参加して推進していくため、リーディングプロジェクトや現在の取組に限らず、意見交換できるような場を設けます。

### 2 リーディングプロジェクトの実施

「京のアジェンダ21（2011年度発展・補強版）」における3つのリーディングプロジェクトを立ち上げ、実施します。

#### （1）既存住宅のエコ化

- ・既存住宅をエコ化するための仕組みについて検討し、それを実施するための組織を設置します。この組織は、関係団体や既存の組織とも連携を図りながら取組を進めるものとしします。
- ・仕組みの検討に必要な調査・研究を行います。例えば、住宅の断熱状況をわかりやすく示すサーモグラフィーの活用についてなどの研究を行います。

#### （2）再生可能エネルギーの普及

- ・再生可能エネルギーワーキンググループにおいて、京都市における再生可能エネルギーの大幅な普及をはかるための具体的な取組を検討します。
- ・独自の調査を行って現状把握・種類別動向・具体案を含む「京の再生可能エネルギービジョン（市民版）」を作成します。
- ・その中から、次年度から実施できる取り組みの具体化を図ります。

### (3) 交通と観光のエコ化

- ・これまで実施してきた「バスと電車で eco グルメ！」をより効果的なものにするため、内容や手法を工夫して実施します。
- ・環境負荷が少ない観光スタイルを提案するための取組を検討します。例えば市民が主体的に参画しながら、地域の魅力を再発見し、まちや暮らしの価値観を見直す「まちあるき」ツアーの推進や、京都グリーン購入ネットワークの取組「エコホテル・旅館プロジェクト」への参画などを考えていきます。
- ・公共交通や自転車を徹底的に使いやすくするための提案づくりに向けて、調査や意見交換会を実施します。

## 3 プロジェクトの実施

これまで継続的に実施してきたプロジェクトについては、参加者の主体性を重視しながら、より効果的になるよう取組を発展させていきます。

### (1) 家庭の省エネ相談所

- ・これまで「家庭の省エネ相談所」を共同で実施してきた省エネ普及ネット・京都、京都府地球温暖化防止活動推進センター、京エコロジーセンターなどと協力しながら、より効果的な家庭での省エネ活動の普及を目指す活動を行います。
- ・「家庭の省エネアドバイザー」の新規養成や活動中のアドバイザーのスキルアップのための研修については、京エコロジーセンターなどとの役割分担しながら共同で実施します。
- ・子ども向けの診断ソフトを開発し、子どもも家庭の省エネ相談所に参加できるようにし、家庭での取組につなげるようにします。

### (2) 京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト

- ・今年度から活動を開始する「左京区里山保全チーム」を加え、5つのチームごとに、地域で事業者、学校・保育園、市民等が連携して取り組む環境活動を自主的に行えるよう支援を行います。
- ・新たな事業者、地域などの拡大や、新しいチームを作るなど、活動がさらに広がったり、より効果的になるような仕組みづくりを行います。
- ・現在の活動チーム
  - 自然エネルギー環境学習チーム
  - 交通環境学習チーム
  - 環境かみしばい学習チーム（おひさま発電所づくり）
  - 水源の森づくりチーム
  - 左京区里山保全チーム

#### 4 環境情報等の収集・発信

- ・「京のアジェンダ 21」の取組を進めるための様々な環境情報を収集するため、各種セミナー等への参加や資料・書籍等を入手するなどし、活動へつなげるとともに、広く情報発信していきます。
- ・会員をはじめ、一般向けにフォーラムの活動を周知し、活動への参加を促進するための季刊誌を発行します。
- ・随時フォーラムの活動へ参加してもらえるような今後の予定や環境情報などを提供するためのメールマガジンを配信します。
- ・フォーラムの概要や活動状況、行事や会議の告知等を掲載するホームページを運用します。

#### 5 交流・共催事業の実施

- ・京都市や他団体が実施する事業等に参加・協力したり連携を深めるなど、京都市全体の環境活動促進を目指します。
- ・会員間の意見交換・交流を図るため、サロンなどを開催します。

第4号議案 2011（平成23）年度収支予算について  
2011（平成23）年度収支予算（案）

[一般会計]

収支計算書

単位：円

	大科目	中科目	2010年度予算額	2010年度決算額	2011年度予算額	
収 入	会 費 収 入		900,000	782,000	850,000	
	事 業 収 入		200,000	101,000	150,000	
	助 成 金 収 入		0	15,225	0	
	受 託 金 収 入		22,048,000	22,048,000	20,624,000	
	雑 収 入		10,000	1,715	10,000	
	前年度繰越金		1,162,679	1,162,679	1,941,646	
	寄付金特別会計 からの繰入				950,146	
	合 計		24,320,679	24,110,619	24,525,792	
支 出	事 業 費	事業活動費	3,930,000	4,049,550	3,420,000	
		情報収集・提供	1,280,000	1,328,106	1,230,000	
		交流・共催事業	230,000	144,014	201,000	
	管 理 費	会議費	170,000	142,124	140,000	
		人件費	15,460,000	13,874,225	15,860,000	
		一般事務費	2,300,679	2,630,954	2,410,000	
	予 備 費		950,000	0	1,264,792	
	次年度繰越金			1,941,646		
		合 計		24,320,679	24,110,619	24,525,792

[一般会計]

支出内訳

単位：円

勘定科目及び金額		2010年度	2011年度	摘 要	
大科目	中科目	決算額	予算案		
事業費	事業活動	4,049,550	3,420,000	1	「京のアジェンダ21」の推進 【380,000】
					冊子印刷費 300,000
					会議開催経費 80,000
				2	リーディングプロジェクトの実施 【2,400,000】
					既存住宅のエコ化 (70,000)
					会議開催経費 100,000
					調査・研究経費 600,000
					再生可能エネルギーの普及 (70,000)
					会議開催経費 50,000
					調査・とりまとめ経費 650,000
	交通と観光のエコ化 (1,000,000)				
	会議開催経費 50,000				
	バスと電車でecoグルメ経費 800,000				
	エコ観光・交通提案事業経費 150,000				
	3	プロジェクトの実施 【640,000】			
	家庭の省エネルギー対策プロジェクト (520,000)				
	家庭の省エネ相談所開催業務委託費 350,000				
	アドバイザー養成研修会開催費用 90,000				
	ソフト・啓発物品作成費 70,000				
	消耗品費 10,000				
	京都環境コミュニティ活動 (KESC) (120,000)				
	会議開催経費 10,000				
	講師謝金 60,000				
	チラシ等印刷費 10,000				
	消耗品費 40,000				
	情報収集・提供	1,328,106	1,230,000	4	環境情報等の収集・発信
					季刊誌の発行 (820,000)
					編集・印刷費 600,000
					発送費用 220,000
					メールマガジン・ウェブサイト運営費用 50,000
					資料発送費 250,000
					書籍・資料購入費 50,000
					消耗品費 60,000
	交流・共催	144,014	201,000	5	交流・共催事業の実施
					交流・共催事業事務経費 90,000
					サロンdeエコ開催経費 100,000
					関係団体等会費 11,000
事業費 合計		5,521,670	4,851,000		

[一般会計]

支出内訳

単位： 円

勘定科目及び金額		2010年度	2011年度	摘 要
大科目	中科目	決算額	予算額	
管理費	会議費	142,124	140,000	総会開催関係経費 140,000
	人件費	13,874,225	15,860,000	職員賃金 13,900,000 保険料（事業主負担） 1,920,000 健康診断費用 40,000
	一般事務費	2,630,954	2,410,000	事務用品消耗品費・事務経費 （電話・コピー料金他） 1,300,000 事務所 電気代相当分 180,000 税理士顧問報酬 160,000 消費税 700,000 法人税 70,000
管理費 合計		16,647,303	18,410,000	

[寄付金特別会計]

収支計算書

単位： 円

	大科目	中科目	2010年度 予算額	2010年度 決算額	2011年度 予算額
収 入	寄 付 金 収 入		50,000	0	0
	雑 収 入		400	234	0
	前年度繰越金		949,912	949,912	950,146
	合 計		1,000,312	950,146	950,146
支 出	事 業 費		0	0	0
	管 理 費		0	0	0
	一般会計への 繰 入				950,146
	次年度繰越金		1,000,312	950,146	0
	合 計		1,000,312	950,146	950,146

第5号議案 幹事及び監事の選任について

京のアジェンダ21フォーラム 役員（案）

（五十音順）

役職	名前	所属等
幹事	青田真樹	財団法人京都ユースホステル協会 事務局長
	浅岡美恵	弁護士
	石野 茂	京都府文化環境部 環境政策監兼副部長
	磯橋輝彦	社団法人京都青年会議所 副理事長
	井上恵津子	京都市地域女性連合会 常任委員
	井上和彦	京のアジェンダ21フォーラム 事務局長
	太田航平	特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所ecotone 代表理事
	大西祐資	株式会社京都新聞社 社会報道部社会担当部長
	奥原恒興	京都商工会議所 専務理事
	小幡範雄	立命館大学政策科学部 教授
	木原浩貴	京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局長
	黒石 悟	京都府中小企業団体中央会 事務局長
	白須 正	京都市 産業観光局長
	新喜富雄	財団法人京都市環境事業協会 京エコロジーセンター 次長
	杵本育生	特定非営利活動法人環境市民 代表理事
	田浦健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク 事務局長
	田辺真人	京都市 地球環境政策監
	谷口正克	社団法人京都工業会 業務推進役
	坪内俊明	京都市 環境政策局長
	津村昭夫	特定非営利活動法人KES環境機構 専務理事
	寺田敏紀	京都市 都市計画局長
	内藤正明	京都大学 名誉教授・特定非営利活動法人循環共生社会システム研究所 代表理事
	中田泰司	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 事務局長
	藤田晶子	フリーエディター
	三宅康仁	株式会社京都放送 ラジオ営業局事業部長
	文字英夫	社団法人京都ボランティア協会 理事
山内 寛	京都市保健協議会連合会 会長	
山崎晶子	社団法人京都市観光協会 事務局長	
和田政昭	京都商店連盟 事務局長	
監事	上田 誠	京都市 環境政策局地球温暖化対策室「DO YOU KYOTO?」プロジェクト推進担当課長
	原 強	特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 理事長

任期:2011(平成23)年6月13日～2013(平成25)年6月12日

第6号議案 京のアジェンダ21（2011年度発展・補強版）について

みやこ

# 京のアジェンダ 21

<2011年度発展・補強版>

～持続可能な社会づくりのためのビジョンと戦略～

(案)

2011年6月

みやこ

京のアジェンダ 21 フォーラム

# はじめに

京のアジェンダ 21 フォーラム  
代表 内藤 正明

---

## 目 次

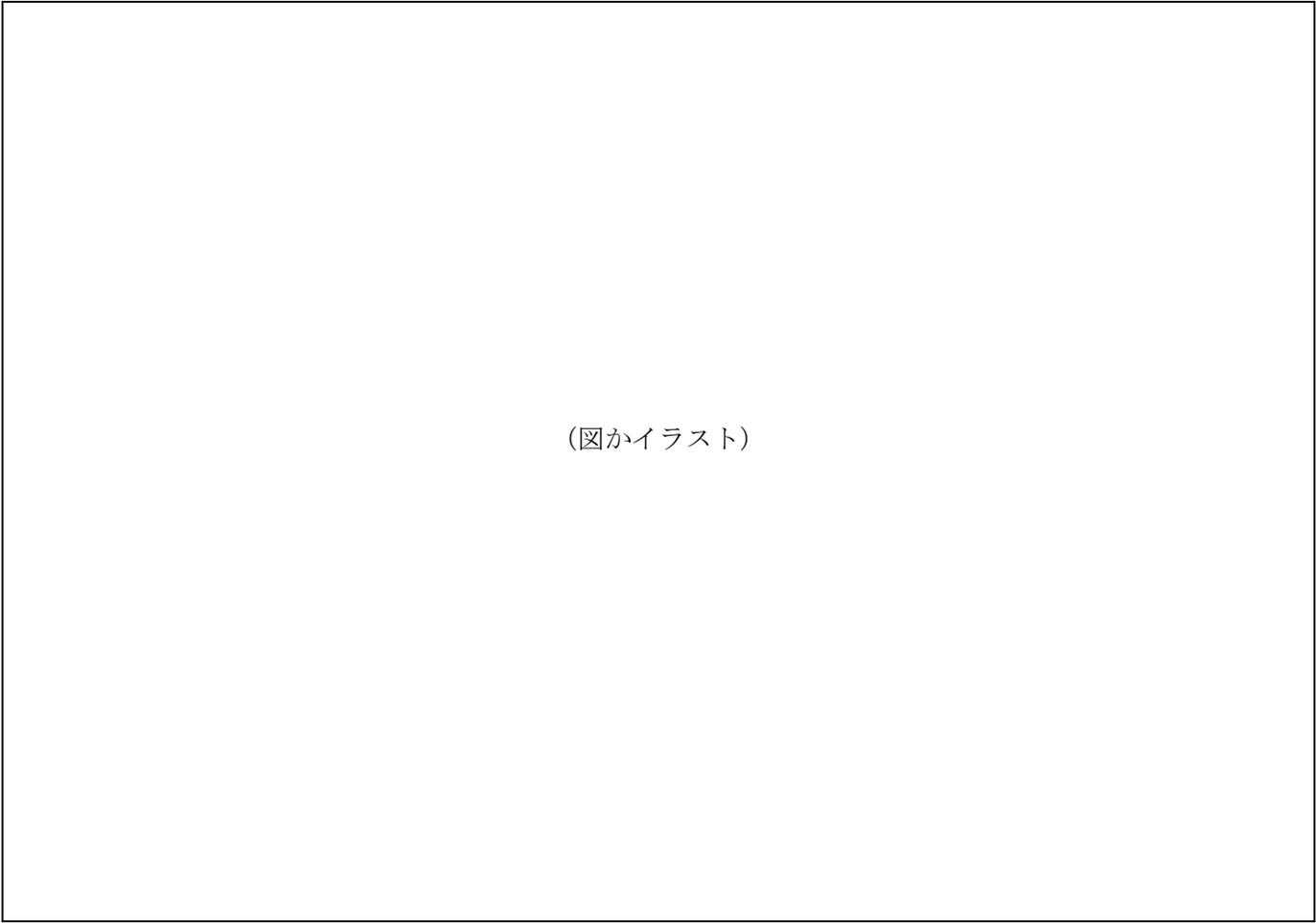
1 持続可能な社会づくりに向けて .....	1
2 京のアジェンダ 21 フォーラムの役割 .....	3
3 めざす将来像 .....	4
4 リーディングプロジェクト .....	7
5 取組の進め方 .....	13

# 1 持続可能な社会づくりに向けて

## (1) 持続可能な社会とは

私たちが望むのは、将来世代にわたって幸せな暮らしを不安なく続けていける社会です。しかし、それを阻む様々な問題が生じており、今のままでは将来への明るい展望が見えにくくなっています。

人々が生きていくための環境については、健康被害や自然環境そのものの破壊、気候変動などの問題があげられ、社会構造やライフスタイルの転換が求められています。そのためには、日々の暮らしに関係する経済活動と連動させる必要があります。経済活動と環境問題の解決が相反すると考えるのではなく、持続可能な新しい経済をつくるチャンスと捉える必要があります。また、地球上のあらゆる人たち、社会の中で様々な状況におかれている人々が支えあって、共に幸せを享受する社会であるべきです。このように、持続可能な社会をつくるための取り組みは、環境・経済・社会という3つの側面を持ち、それぞれが連動していることを認識し、全てが良くなることを望ましいと考えます。



(図かイラスト)

## (2) 現時点での課題意識

近年、持続可能性を問う中で、地球温暖化などの気候変動問題が大きく取り上げられてきました。気候変動問題に関しては、2008年から2012年に京都議定書の第一約束期間を迎え、それ以降の国際的な目標が議論される中、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を低減する「低炭素社会」づくりや「グリーンニューディール」など、都市構造の変革や経済的な仕組みづくりについてもその必要性が求められるようになりました。京都市では、2010年度に京都市地球温暖化対策条例が改正されるとともに新しい2011年～2020年の京都市地球温暖化対策計画が策定されました。

そのような中、2011年3月に東日本大震災および福島第一原子力発電所事故が発生し、これまでにない大きな被害をもたらしました。このことは、自然と人間との関係や科学技術のあり方、エネルギーの利用方法などを改めて考えさせられる機会となりました。遠くから運んでくる資源や高度な科学技術に依存する大規模集中型の仕組みが、実は重大な場面ではもろい面があり、一方、地域の特性や自然を活かした分散自立型の方が被害の極大化を防ぎ、柔軟に対応できる可能性が示されているということも考えられるようになりました。

この事故により、日本をはじめ世界でもこれまでのエネルギー政策が見直され、消費エネルギーの節約と再生可能エネルギーの普及が進むことが予想されます。そのことによって、産業構造や人々の暮らしにまで影響や変化をもたらすことにつながるとすると、低炭素・低エネルギー社会への転換や気候変動対策としても大きく進展することが期待できる上、環境・経済・社会の新しい形が生まれる可能性があります。私たちは、この変化の時期に際し、持続可能な社会づくりに向けて適切で有効な仕組みづくりが重要と考え、これらを担う主体者として自ら提案、実施していきたいと考えています。

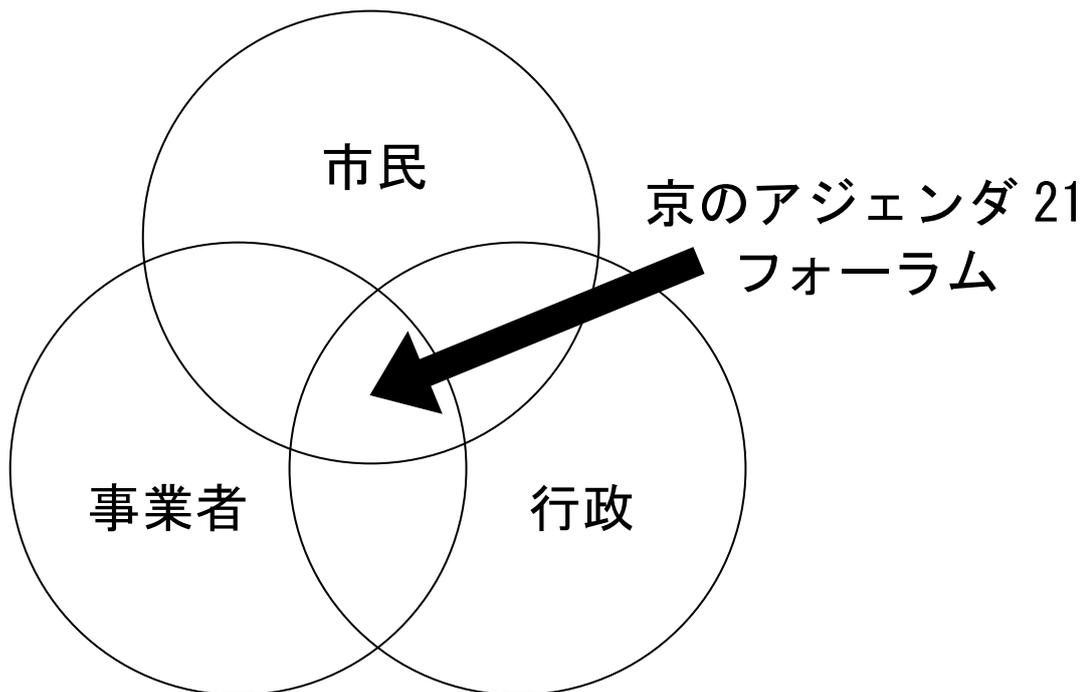
(図かイラスト)

## 2 京<sup>みやこ</sup>のアジェンダ 21 フォーラムの役割

1992年ブラジルのリオデジャネイロで開かれた地球サミット（環境と開発に関する国際会議）では、21世紀に向けた持続可能な開発のための人類の行動計画である「アジェンダ 21」が合意されました。その中では、地方公共団体に地域住民との意見交換を行い、「ローカルアジェンダ 21」に関する合意を得るための取組を求めています。

これを受けて、京都市では1997年に「京（みやこ）のアジェンダ 21」を策定し、1998年にはそれを市民・事業者・行政のパートナーシップで推進する組織「京（みやこ）のアジェンダ 21 フォーラム」を設立しました。

持続可能な社会づくりを進めるためには、市民・事業者・行政など様々な立場、役割を担う人々・組織が主体的に関わる必要があります。しかもそれらがそれぞれの力を発揮し、単独ではできないことも互いに協力・補完しながら一緒に取り組むことで相乗効果をもたらすようにすることが重要です。京のアジェンダ 21 フォーラムは、京都市に関わる様々な個人・団体が参画し、自らそのような相乗効果をもたらす仕組みをつくるために存在しています。



### 3 めざす将来像

京のアジェンダ 21 フォーラムでは、2009 年度に脱温暖化中長期ビジョンを検討し、京都市環境審議会地球温暖化対策推進委員会へ「2030 年の低炭素社会像」案として提出しました。同委員会では、これをもとに京都市地球温暖化対策条例の改正が検討されましたが、その中で以下の 3 つの戦略が示されました。

- 1 温室効果ガスを排出しない都市構造への転換
- 2 環境と経済が融合する社会経済システムの構築
- 3 環境にやさしいライフスタイルへの転換

京のアジェンダ 21 のめざす将来像については、上記で検討した脱温暖化中長期ビジョンを持続可能な社会づくりという視点で再整理し、3 つの戦略に即した形で示します。

#### (1) 都市の姿

(以下の要素を示すイラストや写真などをここに入れます。)

- ・ 中心部にトランジットモールがある。
- ・ 周辺部に公共交通と連結した駐車場が整備され、パーク&ライドが可能になっている。
- ・ 多くの道が歩行者に配慮した、歩いて楽しい道となっている。
- ・ 狭い道路では、自動車がスピードを出せないような構造・路面となっている。
- ・ どこでも公共交通へアクセスできるよう路線が拡充されている。
- ・ LRT、BRT などのより使いやすい交通機関が整備されている。
- ・ 駅などの結節点で公共交通間での乗り換えがしやすい構造となっている。
- ・ 道路は公共交通優先の構造になっている。
- ・ 自転車が使いやすいよう、道路での走行空間が整備されている。
- ・ 自転車と公共交通がスムーズに乗り換えられるような構造、駐輪場が充実している。
- ・ まちのあちこちに駐輪場がある。
- ・ エコドライブしやすい道路構造となっている。
- ・ 倉庫や物流集積地、工場や商店の立地などは、物流ルートを考慮した配置となっている。
- ・ 鉄道輸送のインフラが充実している。
- ・ 健全な森林が保たれている。
- ・ 木材流通ルート・拠点整備されている。
- ・ 木造・省エネ住宅・建物が建てやすい都市計画・建築基準になっている。
- ・ 公共施設の木造化・省エネ化が進んでいる。
- ・ 京都らしいまちなみが保たれている。
- ・ 周辺部の森林から市街地の緑地や河川、街路樹などによるビオトープネットワークが形成されている。
- ・ 市内にメガソーラー、小水力発電設備などがいくつか整備されている。
- ・ 一部の地域では、スマートグリッドがモデル的に整備されている。
- ・ 市内もしくは近郊に農地がある。
- ・ 環境関連産業の立地に配慮された都市計画となっている。
- ・ 観光施設の立地の際、一定の環境配慮基準がある。
- ・ 観光ポイントが一部に集中せず、分散している。
- ・ 様々な国の人が訪れやすいまちになっている。

## (2) 社会経済システム

(以下の要素を示すイラストや写真などをここに入れます。)

- ・ロードプライシングにより、クルマでの中心部への流入が抑制されている。
- ・バスの路線、時刻が工夫され、使いやすくなっている。
- ・交通事業者や乗り換えを気にせずに使える料金体系、便利なカード等利用しやすい仕組みがある。
- ・公共交通を使つての来店時の優遇制度などのサービスがある。
- ・公共交通事業者が元気に余裕を持って事業運営を行っている。
- ・自転車通勤手当、自転車での来店での優遇制度など自転車での利用が得をする仕組みがある。
- ・レンタサイクル、コミュニティサイクル、サイクルシェアリングなど自転車を共同利用できる仕組みが使いやすくなっている。
- ・クルマを選ぶ際にエコカーが買いやすい制度がある。
- ・カーシェアリングが普及している。
- ・エコドライブナビなどエコドライブをしやすいシステムが充実している。
- ・共同配送など効率的な物流システムが普及している。
- ・ものを輸送する際、効率的な物流ルートが選択できる仕組みがある。
- ・森林整備に対する財政措置が行われている。
- ・カーボンオフセット、クレジット化した資金が森林整備に活用できる仕組みが確立されている。
- ・木質バイオマス燃料やそれが利用できる機器が入手しやすくなっている。
- ・木材生産、流通、利用が一体となった仕組みが確立されている。
- ・省エネや地域産木材を使った住宅の購入支援制度が確立されている。
- ・住宅の省エネ化、地域産木材を使ったリフォームに対する支援制度が確立されている。
- ・わかりやすい省エネ性能表示制度が整っている。
- ・新景観政策による仕組みが進んでいる。
- ・事業者の生物多様性保全の取組が進むような仕組みができています。
- ・家庭や事業所、地域での再生可能エネルギー利用設備導入支援制度が充実している。
- ・市民共同発電所など、地域の再生可能エネルギー設備の設置等へ資金提供できる仕組みが充実している。
- ・エネルギー使用量の少ない製品・サービスが普及している。
- ・省エネラベルが全ての電気・ガス製品についている。
- ・地域産のもの、フェアトレード商品などが流通上優遇されるような制度がある。
- ・カーボンフットプリント制度が確立されている。
- ・市内の農業振興策が充実している。
- ・取引において、事業者の環境配慮が考慮されている。
- ・環境配慮の付加価値が高い「京都ブランド」が確立されている。
- ・環境ベンチャー企業がいくつか誕生している。
- ・企業が地域活動へ参加する仕組みがある。
- ・グリーン購入
- ・宿泊施設のエコロジーガイドラインがある。
- ・エコツアーや環境に配慮した施設利用や移手段の方が便利で得になる仕組みがある。
- ・観光関連事業者がエコツアーの実施や施設等のエコ化を進めることで事業促進になる仕組みがある。
- ・いろんなもののレンタルやリースの仕組みが普及している。
- ・修理店やリユースショップがあちこちにある。
- ・長寿命・再利用を前提とした製品が多くなっている。
- ・レジ袋を無料で配布しているお店はほとんどない。
- ・海外からの視察・交流が増え、その対応に市民、事業者なども関わる仕組みがある。
- ・国際的な環境活動への参加の支援制度（資金・優遇制度）がある。

### (3) ライフスタイル

(以下の要素を示すイラストや写真などをここに入れます。)

- ・ 自宅や事業所の前の道路は、できる範囲で門掃きや接道緑化など、歩いて楽しい道路、まちなみへ工夫している。
- ・ 公共交通を使う際、都合に合わせ、便利に使えるような情報がすぐ手に入る。
- ・ 自転車走行のルールが周知されている。
- ・ 自転車利用の経済・健康・環境的効果が認識されている。
- ・ クルマを持つならエコカーを選ぶ。
- ・ エコドライブの知識があり、実行できる。
- ・ 宅配やものを買う際、効率的な物流ルートが選択できるようになっている。
- ・ 森林の役割を理解している。
- ・ 市民や事業者が森林整備に参加している。
- ・ できるだけ木材製品を選び、中でも地域産木材を使用したものを選んでいる。
- ・ 家庭や事業所で再生可能エネルギー利用設備が普及している。
- ・ グリーン電力証書など、再生可能エネルギーが利用しやすくなっている。
- ・ ものを買う際、その製造工程で再施可能エネルギーが利用されたものを選択できるようになっている。
- ・ できるだけ電気やガスを使う製品を使わない。
- ・ 勤務形態が多様化している。
- ・ 買い物をする際、産地や製造過程上の情報がわかりやすく表示されている。
- ・ 地域活動へ参加している。
- ・ エコな観光施設が選べるような情報が提供されている。
- ・ エコツアーのプログラムが充実している。
- ・ 移動手段が多様であり、わかりやすく利用しやすい。
- ・ 街中がエコツアーの材料となるよう工夫されている。
- ・ 観光客に対して、おもてなしの心で接している。
- ・ ほとんどの人がマイバッグを持参して買い物をしている。
- ・ 日常生活における国際的な影響や、様々な国の情報がすぐに得られる。
- ・ 国際的な環境活動に参加しやすい仕組みがある。

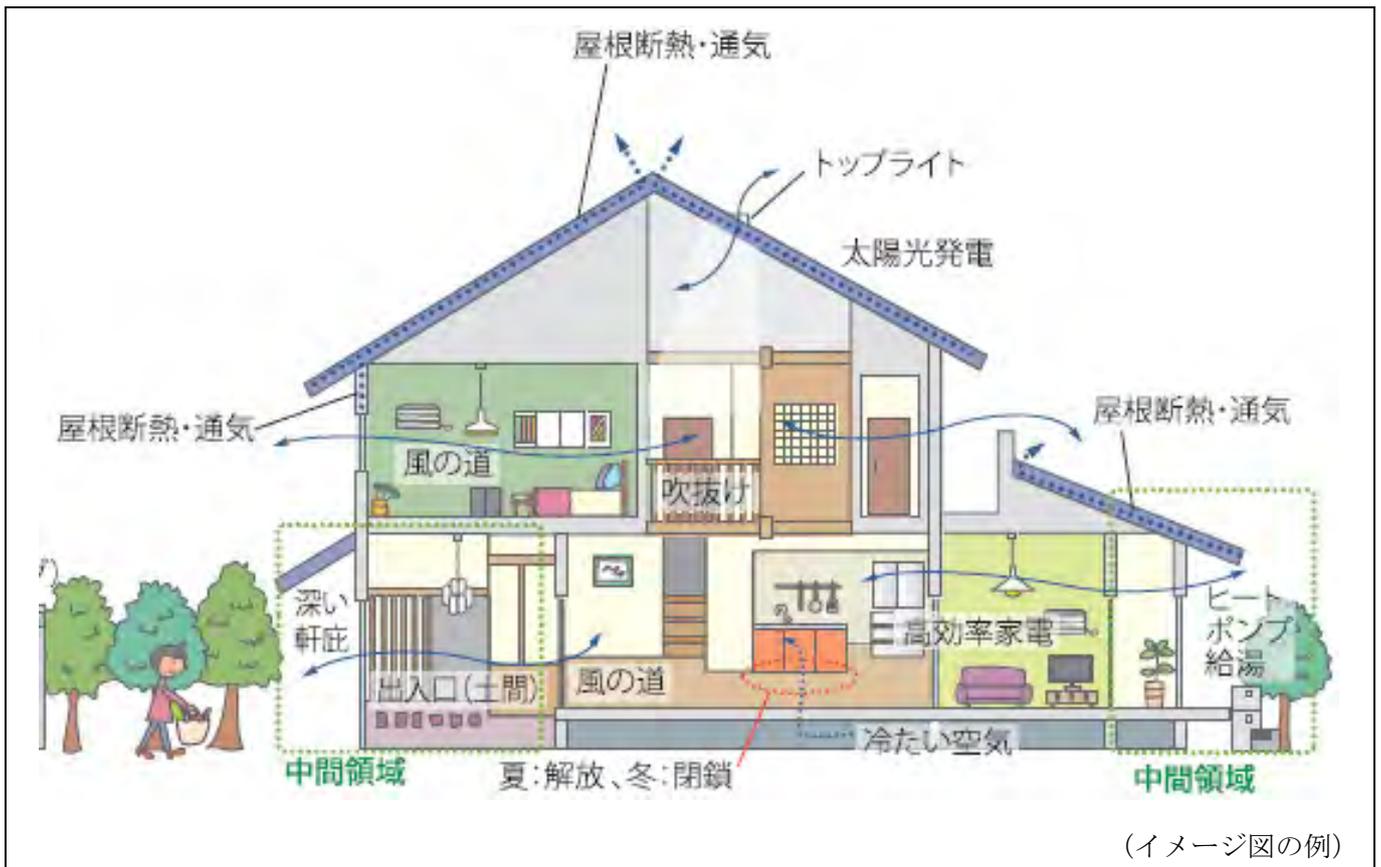


(イメージ図の例)

## 4 リーディングプロジェクト

3で示した「めざす将来像」を実現するために、京のアジェンダ 21 フォーラムでは様々な取組を行っていきませんが、まず当面の5~10年程度に先導的に取り組むプロジェクトとして、「リーディングプロジェクト」を設定します。この取組によって活動が活発化し、ここにあげられたもの以外の取組も進んでいく、けん引役となると考えたからです。特に、市民・事業者・行政のパートナーシップでないとできない取組を考えています。

### (1) 既存住宅のエコ化



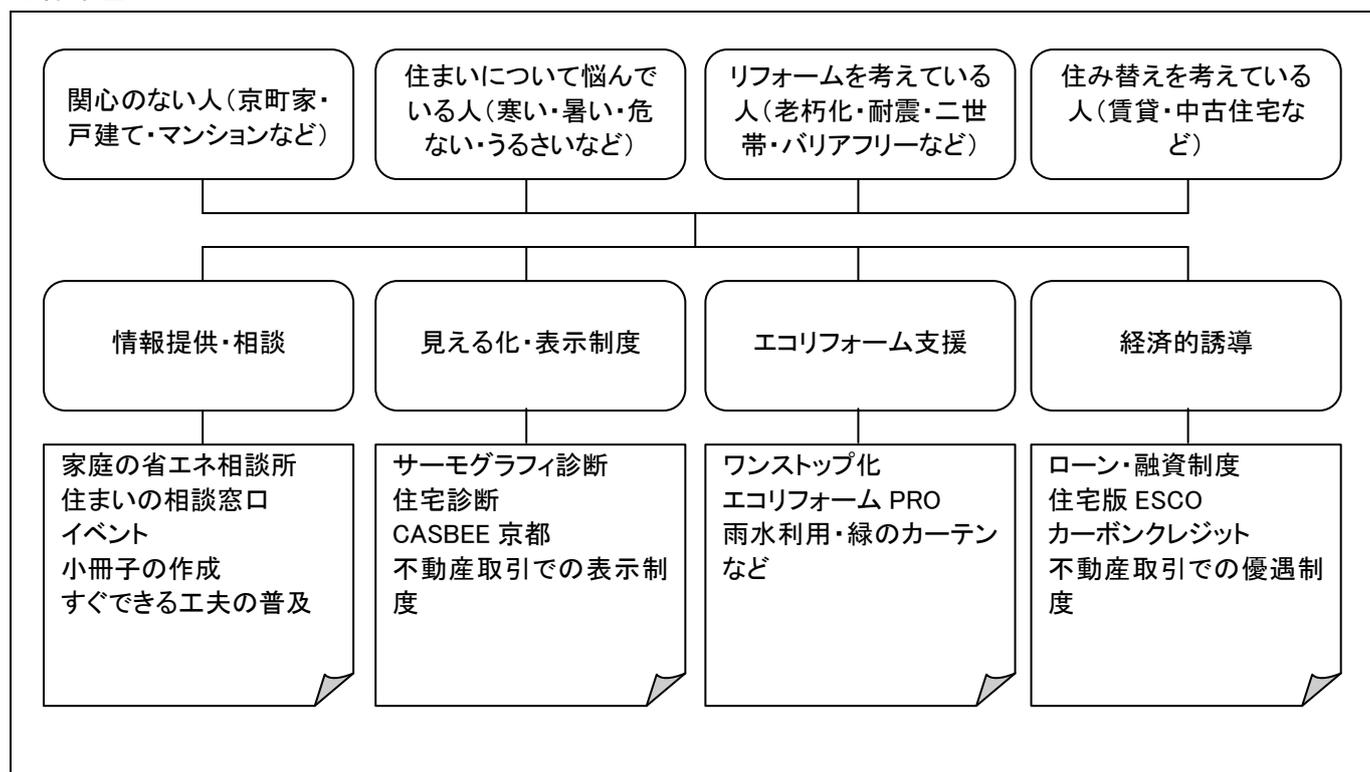
#### ●目的・期待する効果

- ・京都市内に多く存在する既存の住宅が、あらゆる人にとって暮らしやすく改善される中で、省エネを始めとする環境に配慮した住宅を増やす。
- ・耐震など住宅の安全性向上、バリアフリー化の促進、景観政策の進展、住宅関連産業の活性化

#### ●必要な取組

- ・情報提供（気づきから必要な情報まで）
- ・相談会・相談窓口の設置（情報のワンストップ化）
- ・既存住宅の環境性能を見える化（診断手法の開発・診断事業）
- ・CASBEE 京都の普及や不動産取引での既存住宅の環境性能表示制度の検討
- ・実際のエコリフォームをしやすい環境整備・支援
- ・経済的な動機づけ、誘導策

●体系図



●京のアジェンダ 21 フォーラムの取組

- ・関係団体等による協議会の設置
- ・適切な情報提供
- ・既存住宅の環境性能表示制度の検討
- ・エコ化への動機づけから具体的行動への誘導策の確立

●協力を呼び掛ける団体・組織等の一例

建築・建設・設備など住宅関係業界団体、不動産業団体、金融機関、環境団体、消費者団体、行政機関、大学など

## (2) 再生可能エネルギーの普及



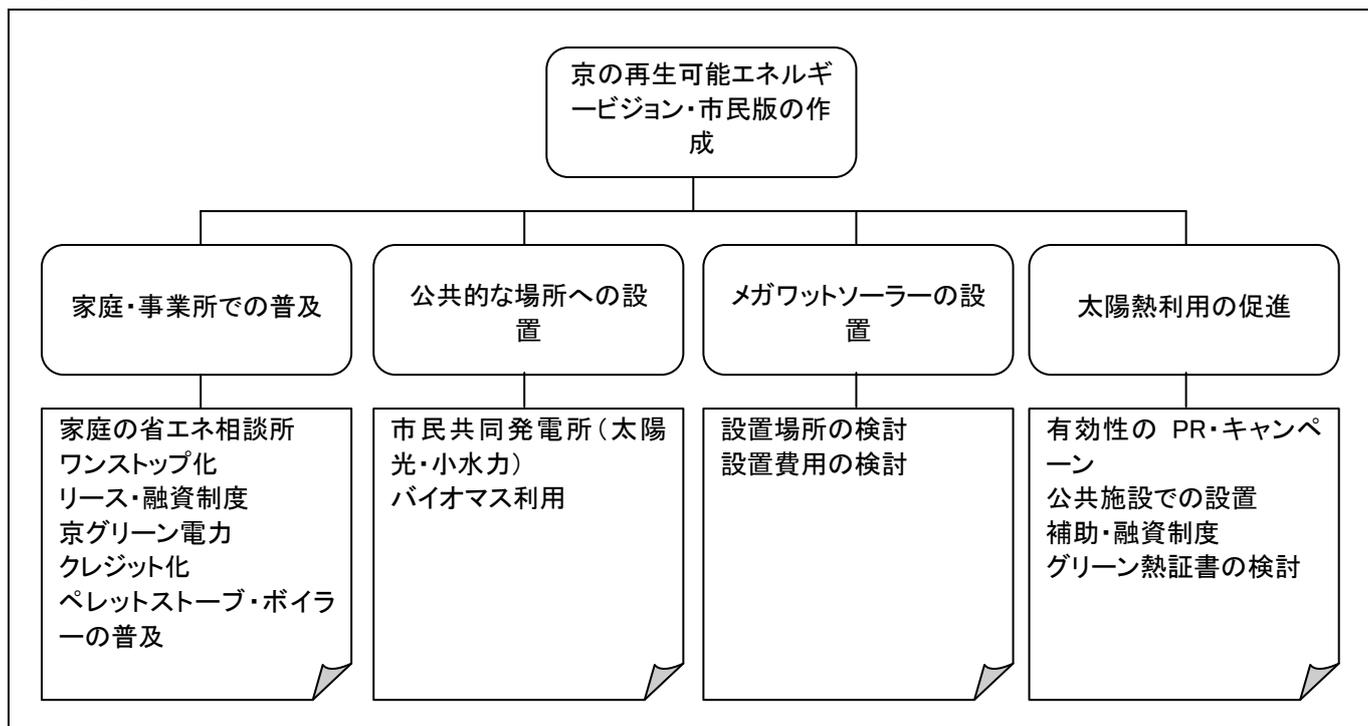
### ●目的・期待する効果

- ・京都市における再生可能エネルギーの利用を飛躍的に増大させる。
- ・再生可能エネルギー関連産業の振興

### ●必要な取組

- ・情報提供（気づきから必要な情報まで）
- ・「京の再生可能エネルギービジョン・市民版」の作成
- ・家庭・事業所での設置普及
- ・経済的な動機づけ、誘導策の普及
- ・公共の土地・建物での設置拡大
- ・象徴となるメガワットソーラーの設置検討
- ・太陽熱利用の促進
- ・小水力・バイオマスエネルギー利用の促進

●体系図



●京のアジェンダ 21 フォーラムの取組

- ・「京の再生可能エネルギービジョン・市民版」の作成
- ・ワンストップ制度の検討
- ・経済的な動機づけ、誘導策の検討
- ・公共の土地・建物への設置拡大策の検討
- ・太陽熱利用の促進策の検討
- ・バイオマス利用促進策の検討

●協力を呼び掛ける団体・組織等の一例

環境団体、再生可能エネルギー設備メーカー、再生可能エネルギー販売・設置業者、事業者団体、金融機関、行政機関、大学など

### (3) 交通と観光のエコ化

(図かイラスト)

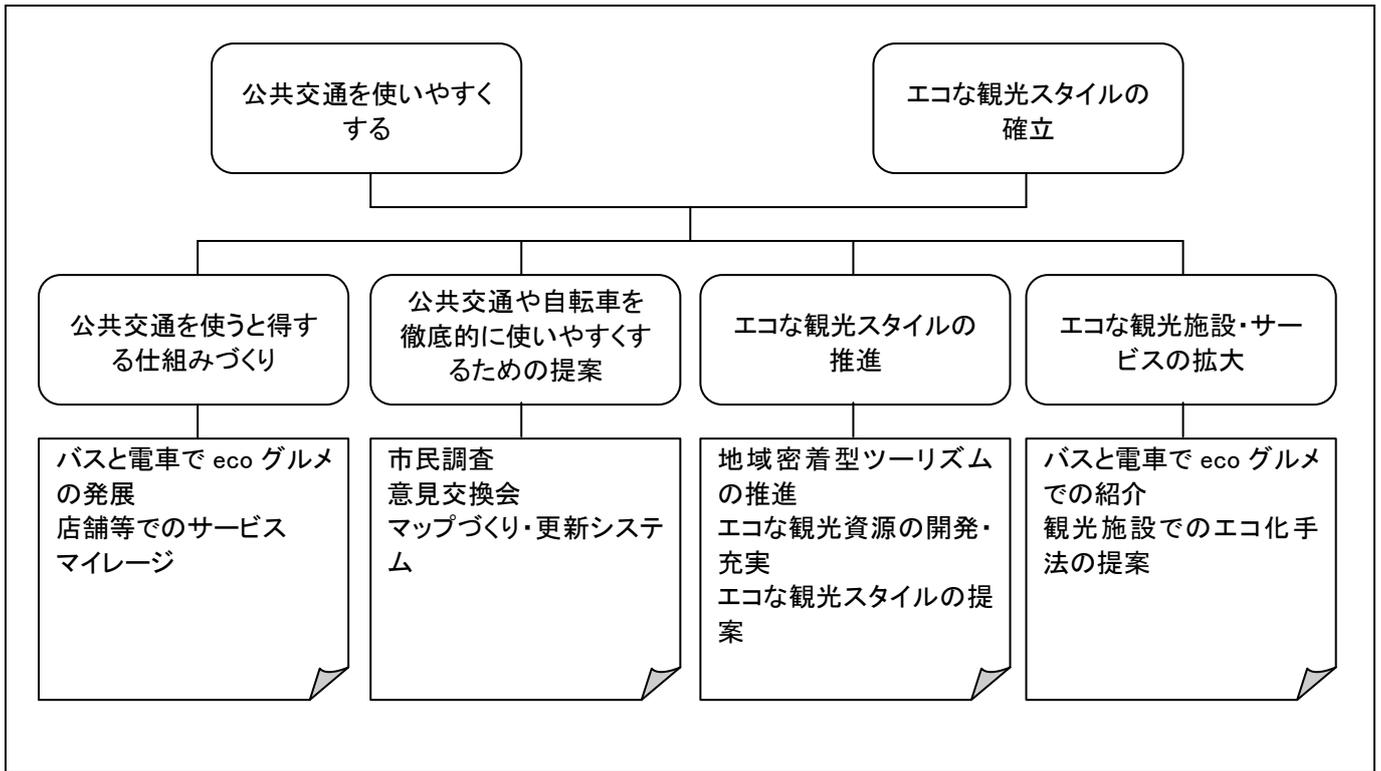
#### ●目的・期待する効果

- ・京都市内を市民や観光客が移動する際、自家用車より徒歩や自転車、公共交通を使った方が便利な条件が多くなり、自然と自転車や公共交通を選ぶことが増える環境を整える。
- ・特定の時期や場所に集中する観光スタイルだけではなく、京都の特徴を活かしたエコな観光スタイルとして、市民が主体的に参加することにより地域の魅力を再発見し、まちや暮らしの価値観を見直すような視点を定着させる。
- ・健康増進、交通事故の減少、高齢者・障がい者等が移動しやすくなる環境の整備、公共交通事業の活性化、地域の商業・商店街の活性化、観光産業の振興

#### ●必要な取組

- ・情報提供（お得なチケット・カード、乗り継ぎ、パーク&ライド、バス停、駐輪場、外国人向け情報など）
- ・公共交通を使うと得する仕組みづくり
- ・利用者の視点に立った公共交通や自転車を徹底的に使いやすくする
- ・京都におけるエコな観光スタイルの推進
- ・エコな観光施設・サービスの普及

●体系図



●京のアジェンダ 21 フォーラムの取組

- ・公共交通を使うと得する仕組みづくり
- ・利用者の視点に立った公共交通や自転車を徹底的に使いやすいするための提案作成
- ・京都におけるエコな観光スタイルの推進
- ・市民が参加しながら地域の魅力を発見する取組
- ・エコな観光施設・サービスの紹介・拡大

●協力を呼び掛ける団体・組織等の一例

公共交通事業者、観光施設関係団体、旅行業者、社寺、環境団体、自転車関係団体、行政機関、大学など

## 5 取組の進め方

京のアジェンダ 21 フォーラムでは、「京のアジェンダ 21」を推進するための様々な取組を実施していきます。現在、継続的に実施しているプロジェクトの他、リーディングプロジェクトにより活動を活性化し、全体の取組を進めていきます。

### (1) 現在進めているプロジェクト

#### ●家庭の省エネ相談所

市民に、日々の暮らしに関する取り組みを「エコライフ診断 記入シート」に記入してもらい、コンピューターで診断して「エコライフ診断書」を発行し、研修を受けた「家庭の省エネアドバイザー」が、各家庭に合った省エネのアドバイスを行うというものです。市内のイベント会場や公共施設・商業施設等で開設しています。

#### ●京都環境コミュニティ活動 (KESC)

京都のそれぞれの地域で、事業者・学校・住民などの各主体が協力して環境問題に取り組む仕組みづくりを目指しています。

- ・自然エネルギー環境学習チーム
- ・交通環境学習チーム
- ・環境かみしばい学習チーム（おひさま発電所づくり）
- ・水源の森づくりチーム
- ・左京区里山保全チーム

### (2) 多様な主体との連携

#### ●他団体の活動との協力・連携

「京のアジェンダ 21」は、京のアジェンダ 21 フォーラムだけでは実現できません。京都市内外の市民・事業者・行政の多様な個人・団体と一緒に取り組んでいく必要があります。そのような方々の取組が進むよう、市民・事業者・行政のパートナーシップ組織である京のアジェンダ 21 フォーラムの特徴を活かした協力・連携を図っていきます。

#### ●情報収集・情報発信

「京のアジェンダ 21」の推進に必要な、京都市内外の環境情報について収集し、京のアジェンダ 21 フォーラムの取組についての情報や、広く市民・事業者・行政の取組に活用できるような環境情報についても積極的に発信していきます。

### (3) リーディングプロジェクトを検討する中で提案されたプロジェクト案

#### ●企業と NPO/NGO とのマッチング

京都市内の企業が地域の環境活動を行ったり、CSR や ISO26000 に沿った社会的責任を果たす取組を進める上で、NPO や NGO、その他市民活動と連携できるような仕組みを考えます。

#### ●ビオトープネットワークづくり

京都市内で、地域住民が参加しながら、周辺の森林から河川、街路樹等の連続した自然で市内の緑がつながり、公園等の公共の緑地と、社寺や民間企業の緑地等が、ネットワークされ、全体として生物の生息環境が保たれるようになる仕組みを考えます。

#### ●物流のエコ化

京都市内に入り出す物流について、二酸化炭素排出量の少ない手段が確立し、荷主や運輸事業者等が選べる仕組みを考えます。

# 京のアジェンダ 21 フォーラム入会のご案内

## 会員募集中

### ■活動への参加

希望されるフォーラムのワーキンググループやプロジェクトチームなどの活動にご参加いただけます。

### ■環境関連の情報の提供

会員の皆様に、毎月メールマガジンを配信するとともに、年4回季刊誌をお送りいたします。

## ご入会手続き

■ご入会の条件 どなたでも、いつでもご入会していただけます。

### ■会員の種別

個人会員と団体会員があります。会社や商店などで事業所として入会を希望される方は、団体会員としてお申込をお願いします。

### ■年会費

1口1,000円（4月から翌年3月まで）で、会員種別に応じて次の口数分を納入いただきます。

- 個人会員 1口（1,000円/年）
- 団体会員 2口以上（2,000円以上/年）

### ■ご入会のお申込先

ご入会を希望される方は、フォーラム事務所に「ご入会ご希望」の旨をご連絡ください。折り返し入会申込書をFAX・郵送等でお届けします。フォーラム Web ページ（URL：<http://ma21f.jp/>）でも入会申込書をダウンロードできます。

### ■会費の納入先

会費の納入先は下記のとおりです。

- 郵便振替 ゆうちょ銀行 00960-7-143508  
京（みやこ）のアジェンダ 21 フォーラム
- 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 京都支店 普通預金 5468383  
京のアジェンダ 21 フォーラム 代表 内藤正明  
（ミヤコノアジェンダ 21 フォーラム タ イヒョウ ナイトウマサアキ）

## 京のアジェンダ 21 フォーラムとは

「京のアジェンダ 21 フォーラム」は、「京のアジェンダ 21」を市民・事業者・行政のパートナーシップで推進するために、1998年11月23日に設立されました。

当初の「京のアジェンダ 21」に示された5つの重点取組に基づき、ワーキンググループやプロジェクトチームを設け、様々な活動を行ってきました。

これまでの成果としては、企業などの団体が環境活動に取り組む KES（KES・環境マネジメントシステム・スタンダード）の創設や家電製品の省エネ情報を表示する現在の「統一省エネラベル」制度の前身となる「省エネラベル」表示制度の構築などを行いました。



## 京のアジェンダ 21 フォーラム

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 京エコロジーセンター内

TEL : 075-647-3535 FAX : 075-647-3536

E-mail : [ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp) URL : <http://ma21f.jp/>